

岡谷市公共施設個別施設計画（案）パブリックコメントの実施結果について

令和3年1月26日（火）から令和3年2月15日（月）まで意見募集を実施しましたところ、3人より貴重なご意見をいただきました。これらのご意見と、ご意見に対する市の考え方は下記のとおりです。

○提出された意見の件数 メールによるもの：3件

No	意 見 要 旨	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後予測される環境変化を踏まえ、公共サービスと財政運営を両立させていく課題提起と中長期視点での戦略策定と実行については理解できる。しっかり検討して頂きたい。 ・ ロマネットの強みを活かした集客への取り組み、更に利用料以外の収入増への取り組みが課題かと思えます。施設廃止検討の前に、もっと強みを先鋭化し、顧客視点でサービスを提供する、その対価として適正な利用料を頂くというビジネスの根幹への立ち帰りが必要ではないか。 ・ 継続の方向性となっている施設も、集約、統合などで効率化が図れるのであれば、ボトルネックへの対応策を検討すべきと考える。よって、このように広く意見を集い、検討の参考にするのは、有効と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な施設管理に取り組む過程においては、経営的な視点から財産の保有・処分・維持管理等の総合的なマネジメントである「ファシリティマネジメント」の考え方を導入するとともに、今後の施設の方向性の検討に際しては経営的視点も踏まえながら決定してまいりたいと考えております。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労青少年ホーム及び勤労会館について、現時点で、すべての施設の利用者に対して、利用目的と現在使用している施設・部屋について「どのような部屋（機能）がふさわしいか」調査をするべき。 ・ 市側の「箱は用意した、市民はなぜ使用しないのか？ならば閉鎖する」ではあまりに乱暴です。 ・ 今後市民に必要な施設の規模と機能はどのようなものかを利用者岡谷市民の目線で確認し、今一度、施設の在り方を練り直してからにしていきたいと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画に基づく具体的な取組みについては、市民や利用者の皆様との情報の共有を行いながら、皆様からのご意見を踏まえ、進めてまいりたいと考えています。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減や企業撤退などに伴い、市が抱えるハードが多く、相対的に維持費・改修費が上昇し見直しが必要になってきていることがよくわかります。早期にムリムダムラを取り除くべきだと思います。ただ、このような大事な議論が行われていることをもっと多くの市民に認知され、自分のこととして捉えさせる必要もあると思います。 ・ ソフト（施設運営）の改革こそが最も大事だと思います。新しいから人が集まるわけではありません。古くてもそこに工夫や努力があれば常に新鮮な取り組みに人は集まるものです。人を集める施設はソフトの見直しをすれば経営状態も改善が見込めるものがたくさんあると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画に基づく具体的な取組みについては、市民や利用者の皆様との情報の共有を行いながら、皆様からのご意見を踏まえ、進めてまいりたいと考えています。また、この議論について多くの市民の皆様認知していただくため、これまでも、広報おかやや岡谷市ホームページ等に掲載し、認知度の向上を図っていますが、今後も多くの市民の皆様の理解と協力をいただける様、情報提供に努めてまいります。